



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東  
コード番号 8040 URL <https://www.soir.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 純一  
問合せ先責任者(役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 大島 和俊 (TEL) 03-6372-6712  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	11,907	—	330	—	403	—	347	—
2023年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 456百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	101.11	—
2023年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2024年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	14,307	9,831	68.7
2023年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 9,831百万円 2023年12月期 一百万円

(注) 当社は、2024年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	—	300	—	400	—	350	—	101.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社キャナルジーン、除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	3,860,000株	2023年12月期	3,860,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年12月期3Q	411,252株	2023年12月期	429,558株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期3Q	3,440,074株	2023年12月期3Q	3,419,684株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)における日本経済は、経済活動の正常化により、雇用・所得の改善が進む中、景気は緩やかな回復基調にあります。海外経済の減速への懸念や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、賃上げやインバウンド需要の拡大による個人消費の回復傾向が一部にみられるものの、原材料及びエネルギー価格の高騰や度重なる物価上昇もあり、衣料品に対する消費者の節約志向や低価格志向が想定されるなど、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は、2024年度を最終年度とする中期経営計画の達成を目指し、「効率的な財務体質の構築」と「新たな収益構成の構築」を推進し、デジタルシフトやサステナブル経営をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。また、重点戦略に沿って、新たに本年4月に株式会社キャナルジーンを連結子会社化し、ライフスタイル事業を強化することで、当社グループの企業価値の向上に努めております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は119億7百万円、営業利益は3億30百万円、経常利益は4億3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億47百万円となりました。

セグメント別の経営成績の概要は次のとおりです。

#### <フォーマル事業>

卸売事業におきましては、新たなお客様の開拓に向けて、「tokyo soir ショップ」では、従来とは異なるカテゴリーの商品展開、魅力的な売場づくりやサービスの提供を継続しております。既存店舗では、大規模な売場の再構築や店舗閉鎖が進む中で、取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を含め、事業運営の効率化に継続的に取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品やコラボ商品の提案を通じ、唯一無二のショップへの進化に取り組んでおります。Eコマース販売では、自社ECサイトにおけるマーケティングツールの活用や広告運用の効果により、売上を伸ばしております。「kuros'」では、リアル店舗とECサイトの両軸で、各種プロモーションを継続的に実施し、認知度向上を図り、事業拡大を進めております。リアル店舗については、8月末で期間限定店舗を閉店し、10月中旬より初の常設店舗として「KITTE丸の内」に出店いたしました。

レンタル事業は、お客様の認知度向上に向けた広告強化や、展開商材の拡充により堅調に売上を伸ばしております。

このような結果、売上高は115億42百万円、営業利益は3億61百万円となりました。

#### <ライフスタイル事業>

株式会社キャナルジーンにおきましては、当第3四半期連結会計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)より連結対象としております。

同社はレディースファッションを中心に、ECサイト及びリアル店舗を運営しており、SNSでの積極的な発信によって幅広い世代からの支持を得て、堅調に売上を伸ばしております。

当第3四半期連結会計期間における売上高は3億64百万円、営業利益は13百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は143億7百万円となりました。主な内訳は、棚卸資産54億47百万円、売上債権17億97百万円、土地16億56百万円、投資有価証券14億16百万円、現金及び預金13億41百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、44億76百万円となりました。主な内訳は、仕入債務20億42百万円、長期借入金5億98百万円、退職給付に係る負債3億93百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、98億31百万円となりました。主な内訳は、資本金40億49百万円、資本剰余金37億32百万円、利益剰余金20億30百万円、その他有価証券評価差額金4億77百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、13億41百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は6億6百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億59百万円があったものの、仕入債務の減少6億22百万円や棚卸資産の増加3億37百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億62百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入92百万円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出5億82百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億49百万円となりました。これは主に、リース債務の返済による支出1億14百万円や配当金の支払1億3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間において、株式会社キャナルジーンの全株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。2024年12月期通期業績予想につきましては、株式会社キャナルジーンの業績予想を織り込んだ連結業績予想となっております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,341,646
受取手形、売掛金及び契約資産	1,771,486
電子記録債権	26,426
商品及び製品	5,204,514
仕掛品	238,800
原材料	4,336
その他	130,271
貸倒引当金	△686
流動資産合計	8,716,796
固定資産	
有形固定資産	
土地	1,656,362
その他(純額)	635,739
有形固定資産合計	2,292,102
無形固定資産	
のれん	445,397
その他	204,962
無形固定資産合計	650,359
投資その他の資産	
投資有価証券	1,416,237
賃貸不動産(純額)	802,040
その他	432,621
貸倒引当金	△2,594
投資その他の資産合計	2,648,304
固定資産合計	5,590,766
資産合計	14,307,563
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	619,532
電子記録債務	1,423,183
契約負債	146,355
1年内返済予定の長期借入金	43,840
未払法人税等	62,139
賞与引当金	94,649
資産除去債務	930
その他	725,085
流動負債合計	3,115,715
固定負債	
長期借入金	598,240
退職給付に係る負債	393,908
資産除去債務	145,002
繰延税金負債	111,403
その他	112,113
固定負債合計	1,360,667
負債合計	4,476,382

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2024年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	4,049,077
資本剰余金	3,732,777
利益剰余金	2,030,838
自己株式	△542,918
株主資本合計	9,269,775
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	477,684
退職給付に係る調整累計額	83,720
その他の包括利益累計額合計	561,404
純資産合計	9,831,180
負債純資産合計	14,307,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,907,350
売上原価	5,775,712
売上総利益	6,131,637
販売費及び一般管理費	5,801,009
営業利益	330,628
営業外収益	
受取利息	158
受取配当金	28,884
受取賃貸料	77,168
その他	9,071
営業外収益合計	115,283
営業外費用	
支払利息	8,185
賃貸費用	33,145
その他	1,292
営業外費用合計	42,623
経常利益	403,287
特別利益	
投資有価証券売却益	56,031
特別利益合計	56,031
税金等調整前四半期純利益	459,318
法人税、住民税及び事業税	113,253
法人税等調整額	△1,746
法人税等合計	111,506
四半期純利益	347,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,811

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2024年1月1日  
至 2024年9月30日)

四半期純利益	347,811
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	122,889
退職給付に係る調整額	△14,521
その他の包括利益合計	108,367
四半期包括利益	456,179
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	456,179

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	459,318
減価償却費	196,875
受取利息及び受取配当金	△29,042
支払利息	8,185
投資有価証券売却損益(△は益)	△56,031
契約負債の増減額(△は減少)	△73,685
のれん償却額	14,367
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△18,885
賞与引当金の増減額(△は減少)	90,763
売上債権の増減額(△は増加)	△126,148
棚卸資産の増減額(△は増加)	△337,630
前払費用の増減額(△は増加)	91,044
仕入債務の増減額(△は減少)	△622,948
未払金の増減額(△は減少)	△123,276
未払又は未収消費税等の増減額	122,486
その他	△53,700
小計	△458,298
利息及び配当金の受取額	29,042
利息の支払額	△8,189
法人税等の支払額	△168,949
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△606,395</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△92
投資有価証券の売却による収入	92,590
有形固定資産の取得による支出	△55,020
資産除去債務の履行による支出	△8,190
貸付けによる支出	△20,000
貸付金の回収による収入	4,487
敷金及び保証金の差入による支出	△25,752
敷金及び保証金の回収による収入	8,349
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△582,290
その他	23,430
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△562,487</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△30,960
配当金の支払額	△103,397
自己株式の取得による支出	△518
リース債務の返済による支出	△114,978
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△249,854</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,418,737
現金及び現金同等物の期首残高	2,760,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,341,646

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

・連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、株式会社キャナルジーンの全株式を取得し子会社化したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フォーマル事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,542,376	364,973	11,907,350	—	11,907,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,542,376	364,973	11,907,350	—	11,907,350
セグメント利益	361,170	13,527	374,698	△44,070	330,628

(注) 1. セグメント利益の調整額△44,070千円は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

2024年4月23日付で、株式会社キャナルジーンの株式を取得したことにより、第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、第2四半期連結会計期間より「ライフスタイル事業」を新たに報告セグメントに追加しております。この影響により、ライフスタイル事業のセグメント資産の金額は869,284千円増加しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「フォーマル事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報としての前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

## 4. 報告セグメントとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフスタイル事業」セグメントにおいて、2024年4月30日をみなし取得日として、株式会社キャナルジーンが新たに連結子会社となっております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において445,397千円であります。